

たきのうえを思う

足寄町在住
八重樫 明さん



©My Hokkaido!

住んではや 45 年、今となつてはす
っかり足寄の住人として生活して
います。

足寄で生まれた子ども達もそれ
ぞ結婚し、親元を離れ社会人の一
人として頑張つており、私たちの健
康を心配してもらえるようになり
ました。

しかしながら、滝上町には、私の
叔父、叔母、いとこなどがいますの
で年に4～5回位は訪れていて
ので、望郷の思いというよりも「地
元」の思いが適しているように感じ
ます。

滝上に住んでいたのは 18 歳ま
でで、故郷を離れて暮し、大人にな
つて訪れるとき、その滝上町の自然を
はじめとした魅力に気づくとともに、
子どもの時にはそんなことを思
うことなく滝上町で過ごしていいた
ことを痛感しています。(例えば、

た。

数年後に、割り箸生産のために勉
強しながら働いていた父から連絡
があり、昭和 45 年に木材の豊富な
足寄町に、父、母、姉、弟と移住を
決断し、割り箸工場を立ち上げまし
た。

た。

今現在は、平成 16 年にとかちペ
レット協同組合の委託を受けて、ペ
レット製造を営んでおります。また、

その生産過程から排出される微粉
末のおがくずに色を着色して、砂絵
の様な感覚で楽しむことができる
お絵かきの画材(おがカラー)を開
発し、林業のこと、地域資源につい
て学んでほしいという思いもあり、
各種イベントでお絵かきを楽し
んでいただいております。

最後になりますが、どこの市町村
も「人口減少」「少子高齢化」が問
題となっています。滝上町で取り組
んでいる「まちづくり」が益々発展
することを、遠くの場所からお祈り
します。



教育支援活動の一環として取り組んでいる
「おがカラー」イベントの写真

私は滝上町で当時の南札久留で
畜産(乳牛)を中心とした農業を営
む父母の長男として生をうけまし
た。土地は粘土質で作物が思うよう
に育たないとか、牛の頭数が増えて
くると草と水が不足して乳の出が
悪くなるなど、生き物(動植物)を
飼う大変さを思い知らされました。

私の妻も滝上町出身で父親は他
界しましたが、母親は健在です。妻
の弟夫婦も林業関係の会社を切り
盛りしています。

私が滝上を離れて足寄町に移り
ました。)

僭越ながら、その後の歩みをお話
しいたします。私が 18 歳の時に家
が離農して街へ引っ越しました。私
自身も、高校を卒業するとともに苦
小牧の写真屋に就職し、写真やカメ
ラの勉強をしていました。

数年後に、割り箸生産のために勉
強しながら働いていた父から連絡
があり、昭和 45 年に木材の豊富な
足寄町に、父、母、姉、弟と移住を
決断し、割り箸工場を立ち上げまし
た。

今現在は、平成 16 年にとかちペ
レット協同組合の委託を受けて、ペ
レット製造を営んでおります。また、

その生産過程から排出される微粉
末のおがくずに色を着色して、砂絵
の様な感覚で楽しむことができる
お絵かきの画材(おがカラー)を開
発し、林業のこと、地域資源につい
て学んでほしいという思いもあり、
各種イベントでお絵かきを楽し
んでいただいております。

最後になりますが、どこの市町村
も「人口減少」「少子高齢化」が問
題となっています。滝上町で取り組
んでいる「まちづくり」が益々発展
することを、遠くの場所からお祈り
します。

事にして、林業教育、地域資源を知
つてもらう活動、まちを知つて好き
になつてもらうふるさと教育に力
を入れたいと考えております。場所
は違えど、同じ林業が盛んな町です
ので、今後、一緒に活動できること
を夢に持ち、一生懸命努めていきた
いと思います。

最後になりますが、どこの市町村
も「人口減少」「少子高齢化」が問
題となっています。滝上町で取り組
んでいる「まちづくり」が益々発展
することを、遠くの場所からお祈り
します。

最後になりますが、どこの市町村
も「人口減少」「少子高齢化」が問
題となっています。滝上町で取り組
んでいる「まちづくり」が益々発展
することを、遠くの場所からお祈り
します。

最後になりますが、どこの市町村
も「人口減少」「少子高齢化」が問
題となっています。滝上町で取り組
んでいる「まちづくり」が益々発展
することを、遠くの場所からお祈り
します。